

田川教育研究所 新報

第106号

平成25年7月10日
 発行所 田川郡教育研究所
<http://www.tagawa-lab.sakura.ne.jp/>

就任のご挨拶

田川郡教育研究所 所長 縄田 哲也

本年度、本研究所の所長を拝命いたしました赤中学校の縄田です。微力ながら、田川郡教育研究所の発展に向けて、努力していきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

さて、今年度の教育研究所の活動でございますが、昨年度に引き続き「学習指導と評価に関する研究」を小中学校の教科等部会との連携により実施していきます。また、管理職及び教員の大量退職を間近に控えたこの期に、今年度から田川郡の教職員の人材育成に視点を当て、田川郡地教委連絡協議会の指導のもと、小中学校校長会と連携した人材育成の取り組みの充実を図りたいと考えています。

今後とも、先生方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

就任のご挨拶

田川郡教育研究所 副所長 森 秀二

本年度、本研究所の副所長を拝命いたしました添田小学校の森です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本年度も「学習指導と評価に関する研究」について、小中学校の各教科等部会の協力も得ながら研究員を中心に推進していきたいと考えています。各学校でも田川郡の大きな課題である学力の向上について、取り組みの充実が図られていることだと思います。教育研究所の果たすべき役割は多いと思いますが、財政、人員等の制約の中で重点を絞って取り組みを進める必要があります。若年教員が増加する状況を踏まえ、素晴らしい実践の紹介などを通して人材育成の視点も大切にしていきたいと考えています。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

小・中学校研究員、担当校長の紹介

小 学 校			中 学 校		
教科名	研究員名(学校名)	担当校長名(学校名)	教科名	研究員名(学校名)	担当校長名(学校名)
国 語	稲富 哲市(伊方)	桑野 徳隆(金田)	国 語	青柳 美香(糸田)	小田 玲子(大任)
社 会	中村 紀幸(中元寺)	高瀬 光一(勾金)	社 会	中野 純孝(方城)	白石 俊幸(金田)
算 数	浜島 秀嗣(添田)	太田 亮一(伊方)	数 学	石打 史尚(金田)	縄田 哲也(赤)
理 科	木牟礼さやか(真崎)	池之上虎男(真崎)	理 科	林 映子(池尻)	坂本 和紀(池尻)
生活・総合	大久保香世子(市場)	中川 真一(真木)	音 楽	萱嶋 恭子(鷹峰)	友松 秀樹(方城)
音 楽	荒金かずき(香春)	永水 正博(弁城)	美 術	其上 利幸(添田)	村上きぬよ(川崎)
図 工	古野 操(中津原)	中川 雅彦(中元寺)	保 体	佐々木佳子(添田)	高橋 孝徳(鷹峰)
家 庭	鍋藤 君江(赤)	渡邊 伴子(上野)	技術・家庭	加治 一太(赤池)	鍋藤 聖一(添田)
体 育	稲富 秀美(中元寺)	角崎 計介(池尻)	英 語	福田 和憲(糸田)	奥 浩幸(糸田)
道 徳	大森耕一郎(真崎)	中村 英子(落合)	道 徳	真武 祐二(鷹峰)	小田 玲子(大任)
外国語活動	中原 正文(上野)	杉原 哲彌(大任)	総 合	森 孝太郎(大任)	白石 俊幸(金田)
特 活	大久保利詔(市場)	井上 憲治(市場)	特 活	鷲尾 佳子(香春)	奥 浩幸(糸田)

学力向上実践校の紹介【小学校】

思考力、判断力、表現力を高める算数科学習指導の取組

赤村立赤小学校

○ はじめに

本校では、朝のチャレンジタイム・補充学習・家庭学習等を通しての基礎基本の知識技能を伸ばす取組と、算数科における、「効果的な言語活動の取り入れ方」の究明を通して、思考力、判断力、表現力を伸ばす授業改善の取組で、児童の学力向上をめざしている。

1. めざす授業

子どもの思考力・判断力・表現力を高めるための効果的な言語活動を取り入れた授業。
以下の三点を着眼点として、授業展開の中に言語活動を取り入れていく。

（着眼1）子どもが明確に「めあて」をつかみ、子ども自らが「まとめる」工夫

○主眼に対する課題解決意欲を高めるような問題提示を行うことで、子どもがめあてを書くことができるようにする。また、まとめの段階では、めあてをふりかえり、子ども自らが自分の言葉でまとめることができるように支援していく。

（着眼2）自力解決の場で自分の考えをまとめる工夫

○自分の考えを明確に持つことができるように、文章や言葉、数、式、図などで表すことができるようにする。その際は、単元で押さえるべき用語や思考の流れを整理するための接続語、比較、順序、類別、理由づけ、定義づけ、推理などに関するキーワードを適切に活用し、記述できるように支援していく。

（着眼3）考えを説明し合う場で自分の考えや考え方をより確かなものにしていく工夫

○個から全体への説明する場面では、他者の考えを推察したり、他者の考えと自分の考えを比べたりすることができるように支援していく。また、考え方を友だちどうしで説明し合うなど、一人一人が表現できる機会を生み出すようにすることで、自分の考えを確かめたり、新たな考えを自分のものとして明確に気づくことができるように支援していく。

2. 具体的な実践

（1）学力向上プロジェクト委員会の定期的開催

- ・ 各学年の取組での児童の学力実態の交流。
- ・ その中で明らかになった課題に対する、具体的な取組方法の検討（指導方法の改善、個別指導、複数支援体制など）
- ・ 各学年の家庭学習の交流
- ・ ステッププリントを使ったシステムづくり
- ・ 習熟の時間の設定（複数の指導体制）
- ・ 朝のチャレンジタイムで、全校一斉集中ウィークの設定

（2）授業改善に向けた取組

- ・ 各学級すべてで公開研究授業に取り組み、仮説を検証していく
- ・ 6月28日（金）算数科授業研究会の実施
 - ① 國學院大學栃木短期大学教授「正木 孝昌先生」による午前中1～6年生の算数科授業参観と指導
 - ② 5年生の学級で正木先生の師範授業を全員で参観、授業についての研修
 - ③ 講演

学力向上実践校の紹介【中学校】

学力向上を図るための取組

福智町立金田中学校

(1) 主題研修 (授業改善部)

○平成25年度 研究テーマ

生徒の集中力を高める、見通しをもたせた授業法の研究
～特別支援教育の手法を取り入れた授業づくり～

① 研究の目標

- ・障害のある生徒や特別の支援を必要とする生徒をはじめ、すべての生徒にわかる授業を行うための支援のあり方を探る。

② 研究の仮説

- ・支援を必要とする生徒の個々のニーズを把握し、**見通し**をもたせ、「**シンプル**（単純化、1問1答式）・**クリアー**（明白、めあて→まとめ、板書・ノートのまとめ方）**ビジュアル**（視覚資料）」を視点とした学習の支援の工夫を行えば、集中力を高め、すべての生徒にわかる授業づくりができるであろう。

③ 研究の視点

- ・生徒の特性とニーズの把握
 - …チェックリストによる実態把握（教育相談、校内委員会、専門家の判断）
 - …支援方法、体制づくり（相談、研究）
- ・「**シンプル・クリアー・ビジュアル**」を視点とした支援の工夫（授業）
 - …教室環境・教材・指導法（話し方、板書、形態、展開）

④ 平成25年度 研修計画

- ①校内研修…全員の授業研（授業グループごと）
- ②校外研修（全員1回）
 - a センター専門研修
 - b 附属中研修会
 - c 研究発表会

(2) 学力アップのための取り組み

○学力向上（基礎学力向上部）…学習課題の徹底、反復

5教科の家庭学習課題、授業中ドリル（過去問題可）

↓

教科時間内で隔週の小テスト

（隔週に小テストができる授業中ドリル、家庭学習課題を出す。）

↓

考査前の**補充**（小テストの反復、予想問題、練習問題）

↓

定期考査（10問以下、20点以内でそのまま**出題**、正解点（率））

食育だより

福智町立金田小学校
栄養教諭 松井 和美

田川郡学校給食会では、7月25日午前、田川総合庁舎にて学校給食担当者研修会を行います。今年度は、九州大学大学院農学研究院 園芸学分野 助教の比良松道一先生より食育に関する実践などをお話しいただきます。比良松先生は、新聞やテレビ番組でもとりあげられた、『自炊塾』で評判の先生です。大学生を対象に実践される食育の授業や、現代社会の食に関するトピックスをわかりやすく教えてください。日々の給食指導や教科等で行う食に関する指導の道標になること間違いなしです！先生方みなさんが対象ですのでお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

例年行っています調理員の研修会・調理講習会、学校給食料理コンクールへの出場も計画しています。調理員も児童生徒の健康のために、先生方と同じ気持ちでがんばっていますので、温かい言葉や応援の言葉をかけてくださると大変励みになるようです。また、栄養教諭等の研究部会では、給食時間に行う食に関する指導の研究を行っています。教室やランチルームで指導させていただく際には、アドバイスをさせていただきますようお願いいたします。

☆ご参加ください→11月8日（金）田川郡学校給食研究発表会 香春町立香春中学校

養護だより

福智町立赤池中学校
養護教諭 清水 祐

田川郡学校保健会では、1学期に第1回研修会として7月5日に福岡県警より筑豊教育事務所に参事補佐として勤務されている守永浩三氏を講師に招き、「薬物乱用防止教育」と題して大麻と違法ハーブ等の恐ろしさや筑豊管内の青少年の実態について講話をいただきました。2学期には福岡方面の特別支援学校等の見学を検討しており、特別支援について研修する予定です。また、3学期には第2回研修会を計画しており、食物アレルギーやエピペンの使用方法等、養護教諭としての対応法についてアレルギー専門医を招いて研修を行う予定です。各部ごとの養護部会では次のように研修テーマを設定し、毎月定期的に研修を継続して実施しています。

- <一部> 関係機関との連携（一年次）
- <二部> 関係機関との連携（いろいろな講師を招聘してお話を聴く）
- <三部> 教育相談、情報交換、配布文書の見直し（統一）
- <四部> 学校現場でのさまざまな対応（食物アレルギー、緊急避難等）



第42回福岡県教育研究所連盟研究発表協議会のお知らせ

表記の研究発表会を下記のように開催いたします。県内各地での貴重な教育実践が発表されますので、先生方の多数のご参加をお願いいたします。

- 期日・会場 平成25年11月21日（木）福岡市教育センター
- 発表内容 福岡県内の各教育機関が研究の成果を発表

平成25年度 田川郡教育研究所 職員

所長	縄田 哲也（赤中学校 校長）	副所長	森 秀二（添田小学校 校長）
幹事	平野 志津夫	書記	有田 真理子
主任研修員	益田 茂（川崎小学校 教頭）	主任研修員	白石 毅（赤中学校 教頭）
研修員	荒川 正史（糸田小学校 教諭）	研修員	高瀬 大輔（市場小学校 教諭）
研修員	岩川 秀治（赤中学校 主幹教諭）	研修員	大隈 準二（池尻中学校 主幹教諭）